

3 医安第 1 0 0 6 号  
令和 4 年 1 月 3 1 日

関係団体の長 様

愛知県保健医療局長  
(公 印 省 略)

毒物及び劇物指定令の一部改正について（通知）

毒物及び劇物指定令の一部改正について、令和 4 年 1 月 28 日付け薬生発 0128 第 1 号で厚生労働省医薬・生活衛生局長から別添のとおり通知がありました。

つきましては、適切な取扱いが図られるよう、貴会員（組合員）への周知に御配慮ください。

担 当 生活衛生部医薬安全課  
毒劇物・麻薬・血液グループ  
電 話 052-954-6305  
ファックス 052-953-7149  
電子メール iyaku@pref.aichi.lg.jp

薬生発0128第1号  
令和4年1月28日

各  $\left( \begin{array}{l} \text{都道府県知事} \\ \text{保健所設置市長} \\ \text{特別区長} \end{array} \right)$  殿

厚生労働省医薬・生活衛生局長  
( 公 印 省 略 )

毒物及び劇物指定令の一部改正について（通知）

毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令（令和4年政令第36号。以下「改正政令」という。）が令和4年1月28日に公布されましたので、下記に御留意の上、貴管内市町村、関係団体等に周知徹底を図るとともに、適切な指導を行い、その実施に遺漏のないようお願いいたします。

なお、同旨の通知を一般社団法人日本化学工業協会会長、全国化学工業薬品団体連合会会長、日本製薬団体連合会会長、公益社団法人日本薬剤師会会長及び一般社団法人日本化学品輸出入協会会長宛てに発出することとしている旨、申し添えます。

記

第1 改正政令の内容について

1 次に掲げる物を新たに劇物に指定した。

4-メチルベンゼンスルホン酸及びこれを含有する製剤。（4-メチルベンゼンスルホン酸5%以下を含有するものを除く。）

(CAS No. : 104-15-4)

2 毒物として指定されていた次に掲げる物を劇物に指定した。

(1) [(2-カルボキシラトフェニル)チオ] (エチル)水銀ナトリウム (別名チメロサル) 0.1%以下を含有する製剤。

(CAS No. : 54-64-8)

(2) 2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-メチルベンジル= (Z) - (1RS, 3RS) - 3 - (2-クロロ-3, 3, 3-トリフルオロ-1-プロペニル) - 2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラト (別名テフルトリン) 1.5%以下を含有する製剤。（2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-メチルベンジル=

愛知県

4.01.28

3医安第1006号

(Z) - (1RS, 3RS) - 3 - (2-クロロ-3, 3, 3-トリフルオロ-1-プロペニル) - 2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート0.5%以下を含有する製剤を除く。)

(CAS No. : 79538-32-2)

3 劇物として指定されていた次に掲げる物を劇物から除外した。

1, 2-ジ(2-{4-[2-(2-メチルプロポキシ)カルボニル-2-シアノエテニル]フェニルチオ}エトキシ)エタン及びこれを含有する製剤。

(CAS No. : 2260706-63-4)

4 施行期日

令和4年2月1日から施行する。ただし、3については、公布日から施行する。

5 経過措置等

- (1) 今回新たに劇物に指定した物については、既に製造、輸入及び販売されている実情に鑑み、改正政令の施行日(令和4年2月1日)において、現にその製造業、輸入業又は販売業を営んでいる者については、令和4年4月30日までは、毒物及び劇物取締法(昭和25年法律第303号。以下「法」という。)第3条(禁止規定)、第7条(毒物劇物取扱責任者)及び第9条(登録の変更)の規定は適用しない。また、新たに劇物に指定した物のうち、改正政令の施行日において、現に存するものについては、令和4年4月30日までは、法第12条(毒物又は劇物の表示)第1項(法第22条第5項において準用する場合を含む。)及び第2項の規定は、適用しない。
- (2) 今回新たに劇物に指定した物について、現に製造業、輸入業又は販売業を営んでいる者に対しては、速やかに登録を受け、毒物劇物取扱責任者を設置するとともに、適正な表示を行うよう指導されたい。また、改正政令の施行日において、現に存する物に関しても、法第12条第3項(毒物又は劇物の表示)、第14条(毒物又は劇物の譲渡手続)、第15条(毒物又は劇物の交付の制限等)、第15条の2(廃棄)、第16条(運搬等についての技術上の基準等)等に関する経過措置は定められておらず、これらの規定は施行日から適用するため、関係業者に対して適切に指導されたい。
- (3) 新たに毒物から除外し、劇物に指定した物について、改正政令の施行日において、現に存し、かつ、その容器及び被包にそれぞれ法第12条(毒物又は劇物の表示)第1項(第22条第5項において準用する場合を含む。)の規定による毒物の表示がなされているものについては、令和4年4月30日までは、引き続きその表示がなされている限り、同項の規定は適用しない。
- (4) 改正政令の施行日前にした新たに毒物から除外し、劇物に指定した物に係る違反については、改正前の罰則を適用する。

## 第2 その他

(1) 改正政令の新旧対照表については別添、今般、劇物に指定された物及び劇物から除外された物の性状、毒性等については以下を参考とされたい。

令和3年度第1回薬事・食品衛生審議会薬事分科会資料（資料1-1 令和3年度第1回毒物劇物部会について）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_19538.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_19538.html)

(2) 第1の1に関する劇物への該当性については次のとおり。

- ・ 4-メチルベンゼンスルホン酸の水和物は、今回の劇物指定の対象外である。
- ・ 4-メチルベンゼンスルホン酸の塩は、今回の劇物指定の対象外である。
- ・ 4-メチルベンゼンスルホン酸の水和物を溶解させた場合、最終溶液中で4-メチルベンゼンスルホン酸としての濃度が5%を超えていれば今回の劇物指定の対象である。

(3) パブリックコメントにおいて寄せられた意見の概要とそれに対する回答の全体は以下のとおりであるので、適宜参考にされたい。

「「毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令（案）」及び「毒物及び劇物取締法施行規則の一部を改正する省令（案）」について（概要）」に対して寄せられた御意見について

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCM1040&id=495210300&Mode=1>

毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令案 新旧対照条文  
 ○毒物及び劇物指定令（昭和四十年政令第二号）（抄）

（傍線部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>（毒物）                      第一条 毒物及び劇物取締法（以下「法」という。）別表第一第二十八号の規定に基づき、次に掲げる物を毒物に指定する。                      一～十六の四 （略）                      十七 （略）</p> <p>イ・ロ （略）                      ハ （略）                      ニ 「（二）カルボキシラトフェニル」チオ」（エチル）水銀ナトリウム（別名チメロサル）○・一%以下を含有する製剤</p> <p>ホ （略）                      ホトチ （略）                      十七の二～十九 （略）                      十九の二 二・三・五・六―テトラフルオロ―四―メチルベンジルⅡ（Z）―（一RS・三RS）―三―（二―クロロ―三・三・三―トリフルオロ―一―プロペニル）―二・二―ジメチルシクロプロパンカルボキシラート（別名テフルトリン）及びこれを含む製剤。ただし、二・三・五・六―テトラフルオロ―四―メチルベンジルⅡ（Z）―（一RS・三RS）―三―（二―クロロ―三・三・三―トリフルオロ―一―プロペニル）―二・二―ジメチルシクロプロパンカルボキシラート一・五%以下</p>	<p>（毒物）                      第一条 毒物及び劇物取締法（以下「法」という。）別表第一第二十八号の規定に基づき、次に掲げる物を毒物に指定する。                      一～十六の四 （略）                      十七 水銀化合物及びこれを含む製剤。ただし、次に掲げるものを除く。                      イ・ロ （略）                      ハ オレイン酸水銀及びこれを含む製剤                      （新設）</p> <p>ニ 酸化水銀五%以下を含有する製剤                      ホトチ （略）                      十七の二～十九 （略）                      十九の二 二・三・五・六―テトラフルオロ―四―メチルベンジルⅡ（Z）―（一RS・三RS）―三―（二―クロロ―三・三・三―トリフルオロ―一―プロペニル）―二・二―ジメチルシクロプロパンカルボキシラート（別名テフルトリン）及びこれを含む製剤。ただし、二・三・五・六―テトラフルオロ―四―メチルベンジルⅡ（Z）―（一RS・三RS）―三―（二―クロロ―三・三・三―トリフルオロ―一―プロペニル）―二・二―ジメチルシクロプロパンカルボキシラート○・五%以下</p>

を含有するものを除く。  
十九の三～三十一 (略)

(劇物)

第二条 法別表第二第九十四号の規定に基づき、次に掲げる物を劇物に指定する。ただし、毒物であるものを除く。

一～二十一 (略)

二十二 (略)

二十二の二 「(二)カルボキシラトフェニル」チオ」(エチル

水銀ナトリウム(別名チメロサル)○・一%以下を含有する製剤

二十二の三 (略)

二十二の四・二十二の五 (略)

二十三～三十一の三 (略)

三十二 (略)

(109)(1) (略)

(108) (略)

(110) | 一・二―ジ (二―〔四―〔二―(二―メチルプロポキシ)

カルボニル―ニ―シアノエテニル〕フェニルチオ〕エトキシ  
エタン及びこれを含有する製剤

(111) | (略)

(112) | (略)

(187) | (略)

を含有するものを除く。  
十九の三～三十一 (略)

(劇物)

第二条 法別表第二第九十四号の規定に基づき、次に掲げる物を劇物に指定する。ただし、毒物であるものを除く。

一～二十一 (略)

二十二 カドミウム化合物。ただし、硫黄、カドミウム及びセレンから成る焼結した物質を除く。

(新設)

二十二の二 ぎ酸及びこれを含有する製剤。ただし、ぎ酸九〇%以下を含有するものを除く。

二十二の三・二十二の四 (略)

二十三～三十一の三 (略)

三十二 有機シアン化合物及びこれを含有する製剤。ただし、次に掲げるものを除く。

(109)(1) (略)

(108) (略)

三―(六・六―ジメチルピシクロ〔三・一・一〕ヘプターニ―エン―ニ―イル)―ニ―ジメチルプロパンニトリル及びこれを含有する製剤

(新設)

(110) | N―(α・α―ジメチルベンジル)―ニ―シアノ―ニ―フ

エヒルアセトアミド及びこれを含有する製剤

(111) | (略)

(186) | (略)

三十三〜七十一の三 (略)

七十一の四 二・三・五・六―テトラフルオロー四―メチルベン  
ジルⅡ(Z)―(一RS・三RS)―三―(二―クロロ―三・  
三・三―トリフルオロー―プロペニル)―二・二―ジメチル  
シクロプロパンカルボキシラート(別名テフルトリン) 一・五  
%以下を含有する製剤

七十一の五〜百の六 (略)

百の七 (略)

百の八 四―メチルベンゼンスルホン酸及びこれを含有する製剤  
。ただし、四―メチルベンゼンスルホン酸5%以下を含有する  
ものを除く。

百の九 (略)

百の十〜百の二十 (略)

百一〜百十 (略)

2 (略)

三十三〜七十一の三 (略)

七十一の四 二・三・五・六―テトラフルオロー四―メチルベン  
ジルⅡ(Z)―(一RS・三RS)―三―(二―クロロ―三・  
三・三―トリフルオロー―プロペニル)―二・二―ジメチル  
シクロプロパンカルボキシラート(別名テフルトリン) 〇・五  
%以下を含有する製剤

七十一の五〜百の六 (略)

百の七 メチル―(四―ブロム―二・五―ジクロルフエニル)―  
チオノベンゼンホスホネイト及びこれを含有する製剤  
(新設)

百の八 メチルホスホン酸ジメチル

百の九〜百の十九 (略)

百一〜百十 (略)

2 (略)

# 官報

編集・印刷  
独立行政法人国立印刷局

## 目次

### 〔政 令〕

○銃砲刀剣類所持等取締法施行令の一部を改正する政令（三四）

○金融商品取引法施行令の一部を改正する政令（三五）

○毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令（三六）

### 〔府 令〕

○銃砲刀剣類所持等取締法施行規則の一部を改正する内閣府令（内閣府五）

### 〔府令・省令〕

○国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の業務運営、財務及び会計並びに人事管理に関する命令の一部を改正する命令（内閣府・厚生労働一）

### 〔省 令〕

○毒物及び劇物取締法施行規則の一部を改正する省令（厚生労働一七）

### 〔告 示〕

○とうもろこし等の関税割当制度に関する省令及び経済連携協定に基づく農林水産省の所掌事務に係る物資の関税割当制度に関する省令の一部を改正する省令（農林水産五）

○原戸籍が滅失した件（法務一五）

○原戸籍の一部が滅失した件（同一六）

○除籍の一部が滅失した件（同一七）

○医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則第七十五条第一項の規定に基づき厚生労働大臣が指定する管理医療機器の一部を改正する件（厚生労働二一）

○商品先物取引法第五十六条第一項の規定に基づき、株式会社東京商品取引所の上場商品の範囲の変更に係る業務規程の変更の認可を行った件（経済産業一三）

○廃棄物の処理及び清掃に関する法律第十五条の四の四第一項の産業廃棄物の無害化処理に係る認定の申請があつた件（環境二）

○道路に関する件（東北地方整備局八、九）

○道路に関する件（関東地方整備局二五、二六）

○道路に関する件（四国地方整備局五、七）

○道路に関する件（北海道開発局九）

〔国会事項〕

〔人事異動〕

法務省 最高裁判所

### 〔官庁報告〕

#### 官庁事項

指定構造計算適合性判定機関の構造計  
算適合性判定の業務の廃止に係る公示  
（国土交通省）

#### 勞 働

中央最低賃金審議会委員の労働者を代  
表する委員の補欠の委員の候補者の推  
薦について（厚生労働省）

船員の特定最低賃金の改正に係る地方  
交通審議会の意見に関する公示  
（中国運輸局最低賃金公示一、沖縄総  
合事務局同一）

### 〔公 告〕

#### 諸 事 項

#### 官庁

財団、司法書士懲戒処分、基本測量  
関係事項、参加者の有無を確認する  
公募手続に係る参加意思確認書の提  
出を求める公示、隊員の懲戒処分、  
一般の退職手当等の全部を支給しな  
いこととする処分関係

#### 裁判所

相続、公示催告、失踪、破産、特別  
清算、再生関係  
会社その他

本号で公布された  
法令のあらまし

◇銃砲刀剣類所持等取締法施行令の一部を改正する政令（政令第三四号）（警察庁）

1 国民体育大会において猟銃を用いて行う射撃競技に参加する選手として適当である者等の推薦を行う者を公益財団法人日本スポーツ協会に改めることとした。（第一条第二項、第一三條第二項及び第二八條第二項関係）  
2 この政令は、令和四年四月一日から施行することとした。

◇金融商品取引法施行令の一部を改正する政令（政令第三五号）（金融庁）

1 取得勧誘が少数向け勧誘に該当しないための要件として定められている人数通算の期間を六箇月から三箇月に短縮することとした。（第一条の六関係）  
2 第一種少額電子募集取扱業務等を行うに際し定められている有価証券の取得者こと払込上限額の規制対象となる者から特定投資家を除くこととした。（第十五条の一〇の三第二号関係）  
3 この政令の施行に関し、必要な経過措置を定めることとした。（附則第二項及び第三項関係）  
4 この政令は、公布の日の翌日から施行することとした。

◇毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令（政令第三六号）（厚生労働省）

1 次に掲げる物を毒物から除外することとした。（第一条関係）  
（一）「（二）カルボキシラトフェニル」チオ「（エチル）水銀ナトリウム（別名チメロサル）  
○一パーセント以下を含有する製剤

(二) 二・三・五・六―テトラフルオロ―四―メチルベンジル $\text{C}_6\text{H}_4$  (Z) ー(一RS・三RS) ー三ー(二―クロロ―三・三・三―トリフルオロ―ローブペニル) ー二・二―ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (別名テフルトリン) ー五パーセント以下を含有する製剤。ただし、二・三・五・六―テトラフルオロ―四―メチルベンジル $\text{C}_6\text{H}_4$  (Z) ー(一RS・三RS) ー三ー(二―クロロ―三・三・三―トリフルオロ―ローブペニル) ー二・二―ジメチルシクロプロパンカルボキシラート ○・五パーセント以下を含有するものを除く。

2 次に掲げる物を劇物に指定することとした。  
(第二条第一項関係)  
(一) 「二―カルボキシラトフェニル」チオ(エチル) 水銀ナトリウム (別名チメロサル) ○・一パーセント以下を含有する製剤  
(二) 二・三・五・六―テトラフルオロ―四―メチルベンジル $\text{C}_6\text{H}_4$  (Z) ー(一RS・三RS) ー三ー(二―クロロ―三・三・三―トリフルオロ―ローブペニル) ー二・二―ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (別名テフルトリン) ー五パーセント以下を含有する製剤。ただし、二・三・五・六―テトラフルオロ―四―メチルベンジル $\text{C}_6\text{H}_4$  (Z) ー(一RS・三RS) ー三ー(二―クロロ―三・三・三―トリフルオロ―ローブペニル) ー二・二―ジメチルシクロプロパンカルボキシラート ○・五パーセント以下を含有するものを除く。

(三) 四―メチルベンゼンスルホン酸及びこれを含有する製剤。ただし、四―メチルベンゼンスルホン酸五パーセント以下を含有するものを除く。

3 次に掲げる物を劇物から除外することとした。(第二条第一項関係)  
一・二―ジ (二) ー(四) ー(二) ー(二) ーメチルプロポキシカルボニル―二―シアノエチニルフェニルチオ(エトキシ) エタン及びこれを含有する製剤

4 この政令の施行に関し、必要な経過措置を設けることとした。(附則第二条、第四条関係)  
5 この政令は、令和四年二月一日から施行することとした。ただし、3については、公布の日から施行することとした。

政令

銃砲刀剣類所持等取締法施行令の一部を改正する政令をここに公布する。  
御名 御璽  
令和四年一月二十八日  
内閣総理大臣 岸田 文雄

政令第三十四号

銃砲刀剣類所持等取締法施行令の一部を改正する政令  
内閣は、銃砲刀剣類所持等取締法(昭和三十三年法律第六号) 第五条の二第二項第一号及び第三項第一号、第九条の十三第一項並びに第三十条の二の規定に基づき、この政令を制定する。  
銃砲刀剣類所持等取締法施行令(昭和三十三年政令第三十三号) の一部を次のように改正する。  
第十一条第二項中「猟銃の所持の許可を受けようとする者の住所の所在する都道府県における」及び「の加盟地方団体」を削る。  
第十三条第二項中「法第四条第一項第一号の規定による猟銃の所持の許可を受けようとする者の住所の所在する都道府県における」及び「の加盟地方団体」を削る。  
第二十八条第二項中「次の各号に掲げる者の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める者」を「日本スポーツ協会」に改め、同項各号を削る。

附則  
(施行期日)  
1 この政令は、令和四年四月一日から施行する。  
(経過措置)  
2 この政令の施行の際現にこの政令による改正前の銃砲刀剣類所持等取締法施行令第十一条第二項、第十三条第二項又は第二十八条第二項第一号に規定する日本スポーツ協会の加盟地方団体から銃砲刀剣類所持等取締法第五条の二第二項第一号若しくは第三項第一号又は第九条の十三第一項の規定による推薦(以下この項において単に「推薦」という。)をされている者は、それぞれ、この政令による改正後の銃砲刀剣類所持等取締法施行令第十一条第二項、第十三条第二項又は第二十八条第二項に規定する日本スポーツ協会から推薦をされた者とみなす。

金融商品取引法施行令の一部を改正する政令をここに公布する。  
御名 御璽  
令和四年一月二十八日  
内閣総理大臣 岸田 文雄

政令第三十五号

金融商品取引法施行令の一部を改正する政令  
内閣は、金融商品取引法(昭和二十三年法律第二十五号) 第二条第三項第二号八、第二十九条の四の二十項及び第二十九条の四の三第四項の規定に基づき、この政令を制定する。  
金融商品取引法施行令(昭和四十年政令第三百二十一号) の一部を次のように改正する。  
第一条の六中「六月」を「三月」に改める。  
第十五条の十の三第二号中「取得する者」の下に「特定投資家を除く。」を加える。

附則

1 (施行期日) この政令は、公布の日の翌日から施行する。

(経過措置)

2 この政令による改正後の金融商品取引法施行令第一条の六の規定は、この政令の施行の日(以下「施行日」という)以後に開始する取得勧誘(金融商品取引法第二条第三項に規定する取得勧誘をいう。以下同じ)について適用し、施行日前に開始した取得勧誘については、なお従前の例による。この政令の施行前にした行為及び前項の規定によりなお従前の例によることとされる場合におけるこの政令の施行後にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令をここに公布する。

内閣総理大臣 岸田 文雄

御名 御璽

令和四年一月二十八日

内閣総理大臣 岸田 文雄

政令第三十六号

毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令 内閣は、毒物及び劇物取締法(昭和二十五年法律第三百三号)別表第一第二十八号、別表第二第九十四号及び第二十三号の五の規定に基づき、この政令を制定する。

毒物及び劇物指定令(昭和四十年政令第二号)の一部を次のように改正する。

第一条第十七号を子とし、二から八までをホからトまでとし、ハの次に次のように加える。

二 「(二)カルボキシラトフェニル」チオ(エチル)水銀ナトリウム(別名チメロサル)〇・一以下を含有する製剤

第一条第十九号の二ただし書中「〇・五%」を「一・五%」に改める。

第二条第一項中第二十二号の四を第二十二号の五とし、第二十二号の三を第二十二号の四とし、第二十二号の二を第二十二号の三とし、第二十二号の次に次の一号を加える。

二十二号の二 「(二)カルボキシラトフェニル」チオ(エチル)水銀ナトリウム(別名チメロサル)〇・一以下を含有する製剤

第二条第一項第三十二号中(186)を(187)とし、(110)から(185)までを(111)から(186)までとし、(109)の次に次のように加える。

(110) 一・二ージ(二)「(四)「(二)「(二)メチルプロボキシ」カルボニル」ニシアノエニル」

フェニルチオ エトキシ)エタン及びこれを含有する製剤

第二条第一項第七十一号の四中「〇・五%」を「一・五%」に改め、同項中第百号の十九を第百号の二十とし、第百号の八から第百号の十八までを一号ずつ繰り下げ、第百号の七の次に次の一号を加える。

百の八 四一メチルベンゼンホルン酸及びこれを含有する製剤。ただし、四一メチルベンゼンホルン酸五%以下を含有するものを除く。

附則 (施行期日) 第一条 この政令は、令和四年二月一日から施行する。ただし、第二条第一項第三十二号の改正規定は、公布の日から施行する。

(経過措置) 第二条 この政令の施行の際現にこの政令による改正後の第二条第一項第百号の八に掲げる物の製造業、輸入業又は販売業を営んでいる者が引き続き行う当該営業については、令和四年四月三十日まで、毒物及び劇物取締法(以下「法」という)第三条、第七条及び第九条の規定は、適用しない。

2 前項に規定する物であつてこの政令の施行の際現に存するものについては、令和四年四月三十日まで、法第十二条第一項(法第二十二号第五項において準用する場合を含む。次条において同じ)及び第二項の規定は、適用しない。

第三条 毒物除外物(この政令による改正後の第二条第一項第二十二号の二に掲げる物又は同項第七十一号の四に掲げる物(この政令による改正前の第二条第一項第七十一号の四に掲げる物を除く)をいう。次条において同じ)であつて、この政令の施行の際現に存し、かつ、その容器及び被包にそれぞれ法第十二条第一項の規定による毒物の表示がされているものについては、令和四年四月三十日まで、引き続きその表示がされている限り、同項の規定は、適用しない。

第四条 この政令の施行前にした毒物除外物に係る行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

厚生労働大臣 後藤 茂之

内閣総理大臣 岸田 文雄

令

府

〇内閣府令第五号

銃砲刀剣類所持等取締法施行令の一部を改正する政令(令和四年政令第三十四号)の施行に伴い、並びに銃砲刀剣類所持等取締法(昭和三十三年法律第六号)第九条の三第一項及び第三十条の二の規定に基づき、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則の一部を改正する内閣府令を次のように定める。

令和四年一月二十八日 内閣総理大臣 岸田 文雄

銃砲刀剣類所持等取締法施行規則の一部を改正する内閣府令 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則(昭和三十三年総理府令第十六号)の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正前欄に掲げるその標記部分に二重傍線を付した項を削る。

改正後	改正前
<p>(推薦等)</p> <p>第十二条 令第三条第二項、第四条第二項、第七条第二項、第十一条第二項、第十三条第二項、第十五条第二項、第十六条第二項又は第二十八条第二項に規定する者(以下この条において「推薦者」という)は、法第四条第一項第四号若しくは第五号、第五条第一項第一号、第五条の二第二項第一号、第三項第一号、第四項第二号若しくは第六項又は第九条の十三第一項の規定により推薦を行うこととなつた場合には、別記様式第十五号の推薦書をその被推薦者に交付するものとする。この場合において、法第四条第一項第四号の規定による推薦については、その推薦書の写しを国家公安委員会に送付するものとする。</p>	<p>(推薦等)</p> <p>第十二条 令第三条第二項、第四条第二項、第七条第二項、第十一条第二項、第十三条第二項、第十五条第二項、第十六条第二項又は第二十八条第二項第一号若しくは第二号に規定する者(以下この条において「推薦者」という)は、法第四条第一項第四号若しくは第五号、第五条第一項第一号、第五條の二第二項第一号、第三項第一号、第四項第二号若しくは第六項又は第九条の十三第一項の規定により推薦を行うこととなつた場合には、別記様式第十五号の推薦書をその被推薦者に交付するものとする。この場合において、法第四条第一項第四号の規定による推薦については、その推薦書の写しを国家公安委員会に送付するものとする。</p>

[2・3 略]

[2・3 同上]

(金融商品取引法第二条に規定する定義に関する内閣府令の一部改正に伴う経過措置)  
 第三条 第二条の規定による改正後の金融商品取引法第二条に規定する定義に関する内閣府令第十三条第二項第一号の規定は、施行日以後に開始する取得勧誘(金融商品取引法(次条において「法」という。))第二項第三項に規定する取得勧誘をいう。以下この条において同じ。について適用し、施行日前に開始した取得勧誘については、なお従前の例による。  
 (企業内容等の開示に関する内閣府令等の一部改正に伴う経過措置)

第四条 第三条の規定による改正後の企業内容等の開示に関する内閣府令第二条第五項第三号及び第九条の二第三号、第四条の規定による改正後の外国債等の発行者の内容等の開示に関する内閣府令第一条の二第一号の二並びに第五条の規定による改正後の特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令第二条第二号の規定は、施行日以後に開始する有価証券の募集(法第四条第一項に規定する有価証券の募集をいう。以下この条において同じ。))について適用し、施行日前に開始した有価証券の募集については、なお従前の例による。  
 (罰則に関する経過措置)

第五条 この府令の施行前にした行為及びこの附則の規定によりなお従前の例によることとされる場合におけるこの府令の施行後にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

府 令 ・ 省 令

○内閣府令第一号

厚生労働省令第一号  
 独立行政法人通則法(平成十一年法律第百三十三号)第三十九条第一項の規定に基づき、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の業務運営、財務及び会計並びに人事管理に関する命令の一部を改正する命令を次のように定める。  
 令和四年一月二十八日

内閣総理大臣 岸田 文雄  
 厚生労働大臣 後藤 茂之  
 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の業務運営、財務及び会計並びに人事管理に関する命令(平成二十七年内閣府令第四号)の一部を次の表のように改正する。  
 厚生労働省令第四号)の一部を次の表のように改正する。  
 (傍線部分は改正部分)

改正後	改正前
<p>第十八条 (略)</p> <p>3 会計監査人は、通則法第三十八条第一項に規定する財務諸表並びに同条第二項に規定する事業報告書及び決算報告書を受領したときは、次に掲げる事項を内容とする会計監査報告を作成しなければならない。</p> <p>一 〇三 (略)</p> <p>四 第二号の意見があるときは、事業報告書(会計に関する部分を除く。)の内容と通則法第三十九条第一項に規定する財務諸表、事業報告書(会計に関する部分に限る。)及び決算報告書の内容又は会計監</p>	<p>第十八条 (略)</p> <p>3 会計監査人は、通則法第三十八条第一項に規定する財務諸表並びに同条第二項に規定する事業報告書及び決算報告書を受領したときは、次に掲げる事項を内容とする会計監査報告を作成しなければならない。</p> <p>一 〇三 (略)</p> <p>(新設)</p>

査人が監査の過程で得た知識との間の重要な相違等について、報告すべき事項の有無及び報告すべき事項があるときはその内容  
 五〇七 (略)  
 4 前項第五号に規定する「追記情報」とは、次に掲げる事項その他の事項のうち、会計監査人の判断に関して説明を付す必要がある事項又は財務諸表の内容のうち強調する必要がある事項とする。  
 一 会計方針の変更  
 二・三 (略)  
 4 前項第四号に規定する「追記情報」とは、次に掲げる事項その他の事項のうち、会計監査人の判断に関して説明を付す必要がある事項又は財務諸表の内容のうち強調する必要がある事項とする。  
 一 正当な理由による会計方針の変更  
 二・三 (略)

附 則

(施行期日)  
 1 この命令は、公布の日から施行する。  
 (会計監査報告に係る経過措置)  
 2 この命令による改正後の国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の業務運営、財務及び会計並びに人事管理に関する命令第十八条第三項又は第四項の規定は、令和四年三月三十一日以後に終了する事業年度に係る会計監査報告について適用し、同日前に終了する事業年度に係る会計監査報告については、なお従前の例による。

省 令

○厚生労働省令第十七号

毒物及び劇物取締法(昭和二十五年法律第百三十三号)第四条の三第一項の規定に基づき、毒物及び劇物取締法施行規則の一部を改正する省令を次のように定める。  
 令和四年一月二十八日  
 毒物及び劇物取締法施行規則の一部を改正する省令  
 毒物及び劇物取締法施行規則(昭和二十六年厚生省令第四号)の一部を次の表のように改正する。  
 (傍線部分は改正部分)

改正後	改正前
<p>別表第一(第四条の二関係)</p> <p>毒物</p> <p>一〇五五 (略)</p> <p>十六 二・三・五・六一テトラフルオロ一四一メチルペンシル(乙)一(一RS・三RS)一三一(二一クロロ一三・三・三トリフルオロ一プロベニル)一ニ・二ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名テフルトリン)及びこれを含有する製剤。ただし、二・三・五・六一テトラフルオ</p>	<p>別表第一(第四条の二関係)</p> <p>毒物</p> <p>一〇五五 (略)</p> <p>十六 二・三・五・六一テトラフルオロ一四一メチルペンシル(乙)一(一RS・三RS)一三一(二一クロロ一三・三・三トリフルオロ一プロベニル)一ニ・二ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名テフルトリン)及びこれを含有する製剤。ただし、二・三・五・六一テトラフルオ</p>

<p>ロ一四一メチルベンジル<math>\text{II}</math> (Z) (一) (RS・三RS) 一三一 (二一クロロ一三・三・三トリフルオロー一プロペンル) 一・二・二ジメチルシクロプロパンカルボキシラート一・五%以下を含有するものを除く。</p> <p>十六の二、二十三 (略)</p> <p>劇物</p> <p>一、四十三の三 (略)</p> <p>四十三の四 二・三・五・六一テトラフルオロー一四一メチルベンジル<math>\text{II}</math> (Z) (一RS・三RS) 一三一 (二一クロロ一三・三・三トリフルオロー一プロペンル) 一・二・二ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (別名テフルトリン) 一・五%以下を含有する製剤</p> <p>四十三の五、六十七 (略)</p>	<p>ロ一四一メチルベンジル<math>\text{II}</math> (Z) (一) (RS・三RS) 一三一 (二一クロロ一三・三・三トリフルオロー一プロペンル) 一・二・二ジメチルシクロプロパンカルボキシラート〇・五%以下を含有するものを除く。</p> <p>十六の二、二十三 (略)</p> <p>劇物</p> <p>一、四十三の三 (略)</p> <p>四十三の四 二・三・五・六一テトラフルオロー一四一メチルベンジル<math>\text{II}</math> (Z) (一RS・三RS) 一三一 (二一クロロ一三・三・三トリフルオロー一プロペンル) 一・二・二ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (別名テフルトリン) 〇・五%以下を含有する製剤</p> <p>四十三の五、六十七 (略)</p>
---	---

**附則**  
この省令は、毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令(令和四年政令第三十六号)の施行の日から施行する。

**○農林水産省令第五号**

関税割当制度に関する政令(昭和三十六年政令第五百五十三号)第二条第五項の規定並びに経済連携協定に基づく関税割当制度に関する政令(平成十七年政令第三十五号)第二条第九項及び同条第十一項の規定により読み替えて適用する同条第五項の規定に基づき、とうもろこし等の関税割当制度に関する省令及び経済連携協定に基づく農林水産省の所掌事務に係る物資の関税割当制度に関する省令の一部を改正する省令を次のように定める。

令和四年一月二十八日  
農林水産大臣 金子原二郎

とうもろこし等の関税割当制度に関する省令及び経済連携協定に基づく農林水産省の所掌事務に係る物資の関税割当制度に関する省令の一部を改正する省令

(とうもろこし等の関税割当制度に関する省令の一部改正)

**第一条** とうもろこし等の関税割当制度に関する省令(昭和四十年農林省令第十三号)の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分(以下「傍線部分」という。)をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線部分のように改める。

改正後	改正前
<p>(関税割当申請書)</p> <p><b>第一条</b> 関税割当制度に関する政令(以下「令」という。)第二条第一項の関税割当申請書の様式は別記様式第一によるものとすし、その提出部数は一通とする。</p>	<p>(関税割当申請書)</p> <p><b>第一条</b> 関税割当制度に関する政令(以下「令」という。)第二条第一項の関税割当申請書の様式は別記様式第一によるものとすし、その提出部数は二通とする。</p>

改正後	改正前
<p>(証明書の分割)</p> <p><b>第四条</b> 令第二条第二項の規定により割当てを受けた者がその割当数量(この条の規定により分割された割当数量を含む。)を分割し、その分割した数量に応じて証明書(この条の規定により分割された証明書を含む。以下同じ。)の分割を申請しようとするときは、別記様式第四による証明書分割申請書一通に当該証明書を添えて、農林水産大臣に提出しなければならない。</p> <p>2 (略)</p>	<p>(証明書の分割)</p> <p><b>第四条</b> 令第二条第二項の規定により割当てを受けた者がその割当数量(この条の規定により分割された割当数量を含む。)を分割し、その分割した数量に応じて証明書(この条の規定により分割された証明書を含む。以下同じ。)の分割を申請しようとするときは、別記様式第四による証明書分割申請書一通に当該証明書を添えて、農林水産大臣に提出しなければならない。</p> <p>2 (略)</p>

**第一条** 経済連携協定に基づく関税割当制度に関する政令(以下「令」という。)第二条第一項及び第二項の関税割当申請書の様式は別記様式第一によるものとすし、その提出部数は一通とする。

(関税割当証明書の分割)

**第三条** 令第二条第五項及び第六項の規定により割当てを受けた者がその割当数量(この条の規定により分割された割当数量を含む。)を分割し、その分割した数量に応じて関税割当証明書(この条の規定により分割された関税割当証明書を含む。以下同じ。)の分割を申請しようとするときは、別記様式第三による関税割当証明書分割申請書一通に当該関税割当証明書を添えて、農林水産大臣に提出しなければならない。

2 (略)

**第五条** 令第二条第十一項の規定により読み替えて適用する同条第五項の農林水産省令で定める数量は、令和四年四月一日から令和五年三月三十一日までの間は七千七百トンとする。

**附則**  
この省令は、令和四年四月一日から施行する。

「毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令（案）」及び「毒物及び劇物取締法施行規則の一部を改正する省令（案）」について（概要）」に対して寄せられた御意見について

令和 4 年 1 月 28 日  
厚生労働省医薬・生活衛生局  
医薬品審査管理課化学物質安全対策室

標記については、令和3年12月1日から令和3年12月30日までインターネットのホームページ等を通じて御意見を募集したところ、23件の御意見をいただきました。御意見をありがとうございました。

お寄せいただきました御意見の要旨とそれに対する厚生労働省の考え方については、別紙のとおりです。（取りまとめの都合上、頂いた御意見のうち、同趣旨のものは適宜集約させていただきます。）

また、本件に直接関係しない御意見等につきましては、お答えすることを差し控えさせていただきますが、御意見として承らせていただきます。

(別添)

○ 御意見の概要とそれに対する考え方について

No.	御意見の概要	御意見に対する考え方
1	4-メチルベンゼンスルホン酸 (CAS 番号 104-15-4) 及びこれを含有する製剤 (4-メチルベンゼンスルホン酸5%以下を含有するものを除く。) が劇物に指定される場合、4-メチルベンゼンスルホン酸一水和物 (CAS 番号 6192-52-5) も劇物に該当するのか。	今回劇物指定される4-メチルベンゼンスルホン酸 (CAS 番号 104-15-4) 及びこれを含有する製剤 (4-メチルベンゼンスルホン酸5%以下を含有するものを除く。) は無水物であり、4-メチルベンゼンスルホン酸一水和物は劇物指定の対象とはなりません。
2	4-メチルベンゼンスルホン酸の水和物を水などの溶媒に溶かし、溶液中で4-メチルベンゼンスルホン酸として5%を超えて存在する場合、その溶液は劇物に該当するのか。	最終製品の溶液中に「4-メチルベンゼンスルホン酸 (CAS 番号 104-15-4)」として、5%を超えて含有されていれば劇物に該当します。
3	4-メチルベンゼンスルホン酸の塩は劇物の対象外か。	ご認識のとおりです。
4	4-メチルベンゼンスルホン酸及びこれを含有する製剤 (4-メチルベンゼンスルホン酸5%以下を含有するものを除く。) について、トスフロキサシントシル酸塩水和物 (CAS 番号 115964-29-9) やスルタミシリントシル酸塩水和物 (CAS 番号 83105-70-8) は劇物に該当しないと考えるが、その判断で差し支えないか。	差し支えありません。
5	①将来的に全てのベンゼンスルホン酸が毒劇物指定されるようになるのか。 ②指定される基準は何なのか。	毒劇物指定については、以下の要件を満たす場合、毒物劇物の指定候補物質として選定し、その中から必要な情報が揃ったものについて、検討を行うこととしています。 ・GHS*分類において、健康に対する有害性が区分1～3に分類 ・危険物輸送に関する国連勧告において、毒物または腐食性物質に分類 *Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals なお、指定候補物質については、毒物劇物部会の会議資料として、厚生労働省のウェブサイトで公表しています。(https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-yakuji_127875.html)

No.	御意見の概要	御意見に対する考え方
6	<p>4-メチルベンゼンスルホン酸及びこれを含有する製剤の「これを含有する製剤」には、トルエンスルホン酸ナトリウム、トルエンスルホン酸メチルのようにその構造中に4-メチルベンゼンスルホン酸の構造を含むものも該当するのか。</p>	<p>いずれも4-メチルベンゼンスルホン酸とは異なる物質であり、製剤には該当しません。</p> <p>「製剤」の考え方については、厚生労働省医薬・生活衛生局化学物質安全対策室の「毒物劇物の安全対策」ホームページの「よくあるご質問」(毒物及び劇物取締法Q&amp;A) (<a href="http://www.nihs.go.jp/mhlw/chemical/doku/situmon/qa.pdf">http://www.nihs.go.jp/mhlw/chemical/doku/situmon/qa.pdf</a>) に掲載しています。</p>
7	<p>テフルトリンの劇物指定について、0.5%以下を含有する製剤を劇物から除外されているが、毒物劇物部会で審議されていないが、どのような理由により除外するのか。</p>	<p>テフルトリン 0.5%以下を含有する製剤は、改正後も劇物であり、劇物から除外されません。</p>
8	<p>「1, 2ジエトキシエタン」は劇物で体に有害なことが立証されているのになぜ除外になるのか。</p>	<p>今回のパブリックコメントの対象である「1, 2-ジ(2-(4-(2-イソプロトキシカルボニル-2-シアノエチル)フェニルチオ)エトキシ)エタン」については、これまで当該物質には有害性の知見が無く、化学構造上「有機シアン化合物」に該当するという理由により劇物指定されていましたが、今回、劇物に該当する有害性がないことが確認されたため、除外としました。</p>
9	<p>令和元年6月19日に提示された「毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令(案)について(概要)に対して寄せられた御意見について」の32番の意見に対して、「毒物劇物の判定基準の中では、動物における知見だけでなく、有効なin vitro試験等の知見により毒性、刺激性の検討を行い、判定を行うこととしています。また、皮膚に対する作用、眼等の粘膜に対する作用に係るin vitro試験方法については、推奨されるOECD毒性試験ガイドラインを提示しています。」と返答されている。しかし、今回の改正案に関して、令和3年度の毒物劇物部会の資料を見ると、CAS番号104-15-4の5%製剤およびCAS番号2260706-63-4の劇物から除外の試験データに関しては、いずれもウサギを用いた動物試験の結果である。</p> <p>(※次ページへ続く)</p>	<p>いただいたコメントは、今回のパブリックコメントの対象ではありませんが、今後の業務の参考にさせていただきます。</p>

No.	御意見の概要	御意見に対する考え方
(9)	<p>(※前ページから続く)</p> <p>皮膚に対する作用、眼等の粘膜に対する作用に係る in vitro 試験に関しては、まだ確立されているとは考えにくく、また急性毒性に関しても推奨される in vitro の OECD 毒性試験テストガイドラインは提示されてない。</p> <p>国際的潮流に合わせて、動物保護の観点から、今後は動物試験による除外申請を廃止し、GHS による分類により有害性を判定する運用にしていきたい。</p>	
10	<p>毒劇法は「保健衛生上の見地から必要な取り締まりを行う」ことが目的であり、盗難防止のために施錠管理できる場所に保管することは理解できる。</p> <p>ただし、OECD テストガイドラインに提示されているような粒径をミストおよびダストにするためには、然るべき装置とその装置を扱うための技能を有する者、また流量・圧力などの多くの条件探索が必要であり、保健衛生上の見地から取り締まりが必要な物質とは考えにくい。</p> <p>急性毒性吸入のミスト及びダストによって、保健衛生上の見地から必要と考えられる実例を提示していただき、なければ、急性毒性吸入のミスト及びダストに関しては、毒物劇物の判定要件から外していただきたい。</p>	<p>いただいたコメントは、今回のパブリックコメントの対象ではありませんが、今後の業務の参考にさせていただきます。</p>
11	<p>「毒物」から「劇物」に指定を変更する根拠はなにか。</p>	<p>一部の濃度について下限値を設定することにより、毒物から劇物への指定を希望される場合には、企業等から、毒物からの除外に相当する試験成績を添付して申し出ることができます。この申出がなされた場合、薬事・食品衛生審議会において毒物劇物の判定基準（平成 29 年 2 月改訂）に照らし、動物実験における①急性毒性、②皮膚に対する腐食性、③眼等の粘膜に対する重篤な損傷等について毒物からの除外に足りる新たな知見が見いだされた場合には、当該知見を含めて除外についての検討を行います。</p>

No.	御意見の概要	御意見に対する考え方
12	パブリックコメント募集時には、「所要の経過措置を設ける」とされているが、その内容詳細について、早期に明確化していただきたい。	新規の指定、指定からの除外、表示義務等、様々な観点で経過措置がありますが、御指摘を踏まえ、これらの経過措置について予見性を高める方策を検討してまいります。
13	毒劇物に指定された物質の水和物に関する解釈について、対象外とすることや、その理由(化学的に安定、毒性・有害性等が、毒劇物相当レベルに達しない等)等を Q&A に追加していただきたい。	いただいたコメントは、今回のパブリックコメントの対象ではありませんが、Q&A には、一般的な内容を記載しております。今後の問合せ等を踏まえ、必要に応じて Q&A に追加等を行います。